

スマイル タウン

2018
3月
号

第291号

ひの社会教育センターは、市民のみなさんの“やりたい”を実現し、「豊かな暮らし」を応援する施設として、1969年に日野市と財社会教育協会が協定書に基づいて設置しました。今月もセンターで生まれるたくさんの学びの様子をお届けします。

ひの社会教育センターの

活動の原点

「ひとつづくり・まちづくり」

年末年始を皮切りに3月まで、子どもたちの休日を使った「スキークャンプ・雪あそびキャンプ」が開催されています。このキャンプの主人公は子どもたちですが、「リーダー」やおうちの人、現地の方々の連携プレーも欠かせません。



「リーダー」は子どもたちと一緒に活動を楽しみたいと願う大学生や社会人のボランティアですが、4〜5か月前から打ち合わせをはじめ、子どもたちを楽しませるアイデアを一生懸命議論しました。今年も研修等を通して引率者としてのスキルと知識を磨きました。

現地の方は様々な面において融通を利かしていただき、我々の「わがまま」を全面的にバックアップしてくれます。おうちの人は、活動方針を支持いただき子どもを送り出し、帰着時にはバスが入ってくれるのを待っていてくれ、子どもたちの荷物を自分の子どもと関係なくでもバケツリレーで運び出してきています。子どもを囲んだ関係者みんなが力を出し合っ

てこそ成功するのが、ひの自然学校のスキークャンプです。我々の活動の運営手法には、様々なご意見もあるでしょうし、あつて当然です。ですが、こうしたリーダーや関係者の情熱から生まれたプログラムとその考え方をいったん飲み込んでいただき、そのうえで忌憚のないフィードバックをお寄せいただければ幸いです。そのご意見が、我々とリーダー達の学びの種になり、またプログラムを深化させるからです。このプログラムに携わる多くの関係者に感謝しつつ、ひの自然学校の舞台裏を少しご紹介しました。(担当・寺田)

また、センターの秋まつりバザーで人気の焼きそばは、実は「男の料理」の会員さんが作っています。バザー開始前から、完売となるまでの約4時間休むことなく、ずっと鉄板の前で、じっくりと焼き続けている姿は職人そのものです。講師の江原弘子先生は「皆さん、とてもやる気があります。あまり、きっちり厳しくはせず、楽しんでやってもらえるよう、心掛けています」とおっしゃっていました。作ったものを半分は食べ、もう半分は持ち帰って、ご家族もお土産が楽しめますね。



金曜日、11時を過ぎると、センターの事務所では、「いい匂いがしてきたね」「今日はなんだろうね」と、おなかを空かせたスタッフ同士の会話が始まります。料理室から、ただよってくる香りの主は、「男の料理教室」。20年つづく人気の教室、秘密をさぐるべくおじゃましてきました。この日のメニューは、節分も近いということと、「韓国のり巻き(キンパ)・キムチスープ」。先生は、ポイントを端的に、しっかりと伝え、とてもわかりやすく、これさえおさえれば、私も料理上手になれるかも!と思わせてくれます。前向きな気持ちで、楽しく取り組めることが長く続けられる秘訣でしょうか。中には、15年続けている方もいらつしやり、地元イベントなどで、おでんの仕込みをまかされたり、ここでの腕前を披露されているそうです。



第2の人生の活動拠点に、成人講座
男の料理教室A 金曜 10時〜12時半
(A・Bコース 1期あたり5〜6回)

また、センターの秋まつりバザーで人気の焼きそばは、実は「男の料理」の会員さんが作っています。バザー開始前から、完売となるまでの約4時間休むことなく、ずっと鉄板の前で、じっくりと焼き続けている姿は職人そのものです。講師の江原弘子先生は「皆さん、とてもやる気があります。あまり、きっちり厳しくはせず、楽しんでやってもらえるよう、心掛けています」とおっしゃっていました。作ったものを半分は食べ、もう半分は持ち帰って、ご家族もお土産が楽しめますね。



いよいよ、のり巻きを巻きますよ



真剣なまなざしでお手本を見ます

新館タイムズ

—新館建設の「いま」をお届け—

平成24年に日野市との間で結ばれた確認書を踏まえ、新たな「日野社会教育センター」の移転及び新館建設に向けた今後の取り組みに関する「確認書」が、この平成30年1月22日に取り交わされました。

新館建設に向けてのA3街区の移転場所、土地に関する取り決め、移転に必要な建設資金等への補助金等についてが、主

起工式（地鎮祭）でスタートします！

場所：建設予定地にて
2月28日（水） 9時～10時

若宮神社の宮司さんによる起工式を行います。



左：岩端さん 右：森重さん

長年続けている森重さんの通い始めたきっかけは「年齢のことも考え、生活に気を付けようと思ったこと」。

先生はきちんとカローリー計算をしてくれ、メニューには旬の物を取り入れてくれるので、季節ごとに旬を感じられ、スープで魚や野菜を見ることも



「男の料理教室」に潜入し、出会った方々にインタビューしました！

今後の予定は、2月28日に起工式を行い、3月中に着工、12月を竣工予定とし、31年4月から新館での事業開始になります。工事の進捗などは、今後もスマイルタウンでお知らせします。お楽しみに！

また、引越越し費用など、さらなるご寄付をよろしくお願ひいたします。

（館長・島崎）

な内容です。これからの日野社会教育センターの運営についてもふれていきます。

昨年末までに数回にわたって新しい建築計画の説明を掲載してきましたが、「確認書」を結びよいよ工事がスタートします。

増えました。また、「料理を習っている」という話題は、何十年も主婦をされている女性たちとのトークのネタに事欠かないので、「先生に習った野菜の切り方の話をしたりすると、楽しいですよ。」と話していました。

家で同じメニューをつくらないことはないけど...と話す岩端さんは、「食事の後片付けをやるようになったことを奥様にほめられるそうで、テキパキと洗い物を済ませ、お土産ののり巻きを持って帰られました。」

（文・写真 野口）



▲地域の方でにぎわう落川交流センターモグモグのブース「もってけ市」の様子

地域とつながることは、未来のお父さんお母さんと出会うことなのだと思います。

*子育てカフェモグモグはランチを提供している子育てひろばです。

1月28日「子育て世帯を地域につなげた」との想いから、近くにある落川交流センターの「もちつき会・市民マルシェ」に、思い出バトン！もってけ市のブースで参加しました。「もってけ市」は自宅でサイズアウトした服などを集め、欲しい人が持つていくだけのシステムで、交流センターで行うのは3回目。回を重ねるごとに地域の方からの出品や「楽しみにしているよ」と声をかけてもらうことが増えて、モグモグが地域の仲間になったことを実感しています。

そして今回は地域の中学生たちも参加していて、モグモグのブースにいる赤ちゃんをかわがる抱っこしてくれました。最初はこわごわ抱いていた男子中学生も、赤ちゃんが腕の中ですやすやすと眠ると「かわいいな」とひとこと。



「子育て家庭を地域につなげる」

ひの社会教育センターで、日野市より受託運営している市内4つの施設の様子を、毎号おしらせします。



賛助会へのご協力 ありがとうございます

★年会費（順不同・敬称略 12/26～1/31）

- ①個人会員 1口 1,000円
池上洋通 10口 鳥居由幸 5口
- ②団体会員 1口 5,000円
日野手品サークル 1口
- ③特別賛助会員 1口 30,000円

※日野社会教育センターへの支援と事業の普及、開かれた運営と経営の安定をはかるため皆様のご加入をお願いします。

新館建設寄付者ご芳名 12/23～1/31 ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

山下カズエ 神田耕治 鳥居由幸 金子尚弘 生越香子
（順不同・敬称略）

現在の募金総額 1/31 現在 317名+募金箱



おかげさまで
2,000万円!!

¥20,038,221,-

スマイルタウン発行：（公財）社会教育協会日野社会教育センター
発行責任者：館長 島崎 成利 〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3
電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647
http://www.hino-shakyo.com E-mail:info@hino-shakyo.com